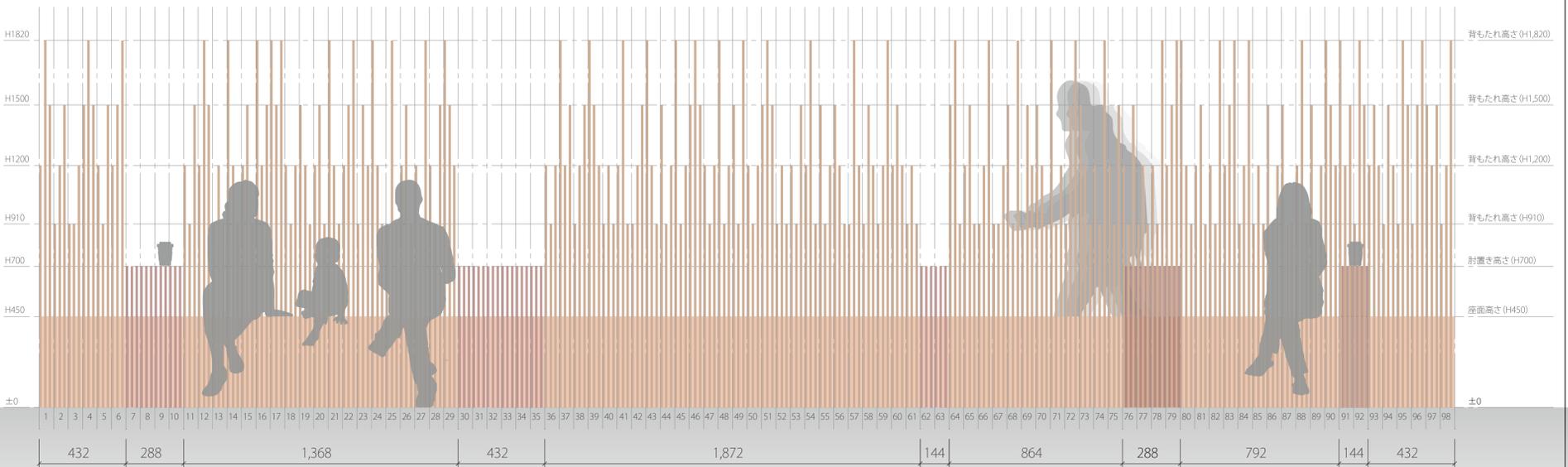
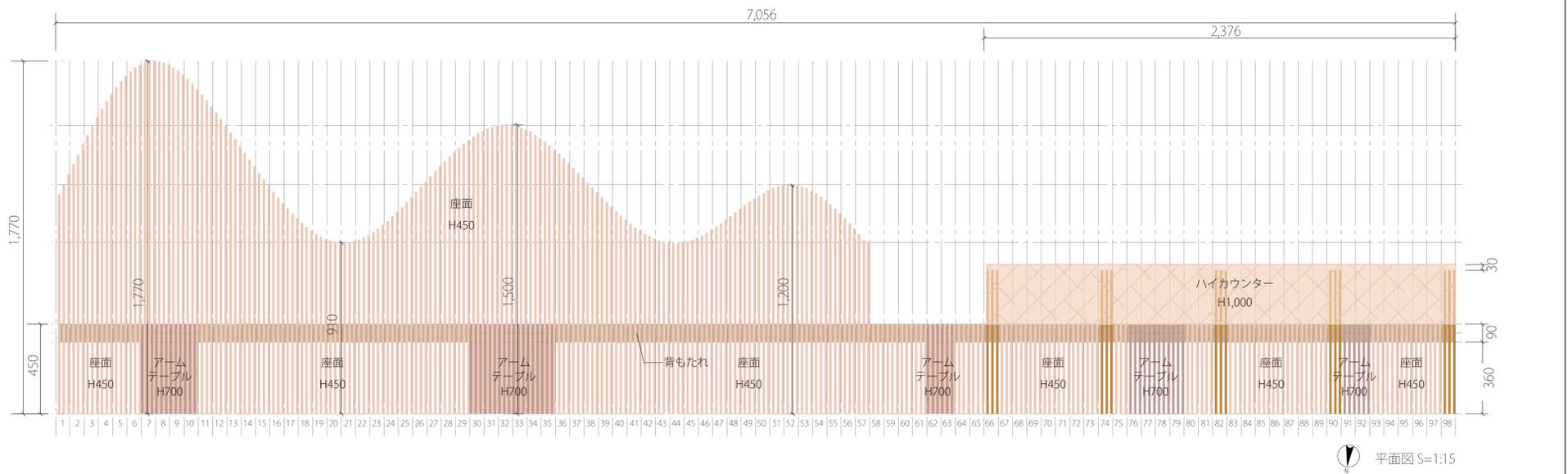




Slit-bench

木口の表情を活かした秋田スギ合板のマルチファニチャー

Slit bench は、厚さ 12mm の秋田スギ合板からなる全長約 7 m のベンチです。水平方向の材と垂直方向の材を交互に連ねることで 12mm 間隔の合板の木口が現れ、これにより、利用者が背もたれの隙間 (slit) を介して互いの存在を感じることでできるデザインとなっています。また、ベンチの曲線を描いたエリアにおいては、広くとられた座面を活かして横たわる、寝そべるなど、一般的なベンチよりもゆったりと過ごすことができ、ハイカウンターでは、立ち話をするなど、多様な活動がみられる場となります。本イベントでのベンチの設置によって、秋田駅の西口から東西連絡自由通路、来年度竣工予定の東口アリーナ（仮称）一帯が木のぬくもりあふれる居心地の良い公共空間となり、秋田駅周辺のにぎわいの創出により一層寄与するものと考えられます。



作品サイズ：1,770mm×7,056mm
 材料：秋田スギ合板 910mm×1,820mm×12mm 150枚（秋田プライウッド株式会社様よりご提供）
 制作：秋田公立美術大学 美術学部美術学科 景観デザイン専攻
 制作期間：4週間

